

〈下関市長・長門市長コメント〉

本日、国土交通省から、令和 5 年度新規事業化箇所として、山陰自動車道（三隅・長門道路）が予算化されたとの発表がありました。両市が念願して止まなかった事業化が実現したことは大変喜ばしいことであり、国土交通省をはじめ関係の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

山陰自動車道は、いのちの道、物流の道、観光の道として、山口県北西部の一体的な発展を図る上で極めて重要・不可欠な道路です。今回の三隅・長門道路の整備により、15年の時を経てようやく、山口県北西部の下関市・長門市・萩市の3市間が切れ目なく接続され、また、観光と産業の拠点の一つである仙崎に中間インターチェンジが設置されることにより、両市の経済の活性化に大きく寄与するものと確信しています。

今後も、山陰自動車道の整備効果を最大限に発揮するため、両市が連携し、地域の活性化策をより一層推進するとともに、国や県、関係の方々と緊密に連携し、山陰自動車道の全線開通に向けて、事業化区間の円滑な進捗が図られるよう努めてまいります。

令和 5 年 3 月 31 日

下関市長 前田 晋太郎

長門市長 江原 達也